

あなたのリン酸肥料は効いていますか?

こんな症状が出ていたら、是非お試しください

根張りが良くない

根毛が粗大で毛細根が少ない

長雨で根痛みが出ている

葉の幅が狭く、葉が小さい

下葉が暗濃緑色から紫色になり落葉する

窒素が効きすぎて徒長ぎみ

開花結実が良くない

果実のつきが悪い

果実が太らない

果実の色づきが悪い

糖度がのらず、酸味が強い

品質が悪い

100%亜リン酸を使用

亜リン酸カルシウム肥料

ホスカル155号



亜リン酸肥料

ホストップ



健全な植物の生育に不可欠な成分

リン酸は、成長の盛んな芽や根の先端や果実などに移動して細胞の増加に不可欠な成分です。

細胞が著しく増加する時期に適量のリン酸を吸収することで、分けつ、伸長、開花、結実が良くなり作物体が強健になり病気に対する抵抗力も強くなります。(農文協出版の作物の要素欠乏過剰症より)

液肥による過不足のないリン酸補給

元肥で施されるリン酸成分は、火山灰土壤ではアルミニウムと結合して不溶性のリン酸アルミニウムに、洪積層地帯の粘土分の多い赤土地帯では鉄分を結合して不溶性のリン酸鉄となって根から吸収されません。土壤分析で十分すぎるほどのリン酸成分が確認されますが、植物が吸えないリン酸がほとんどで、元肥以外の液肥による追肥が効果的です。

分子が小さく吸収性が高い亜リン酸

通常のリン酸肥料は分子が大きく葉面散布してもなかなか吸収されませんが、酸素分子が少ない亜リン酸は水に溶けやすくスムーズに吸収されます。しかもアルミニウムや鉄などと結合しにくい性質を持っており、葉面散布でも灌水でも使用可能です。特に寒い時期に生育する根菜類などの作物はただでさえリン酸の吸収が悪いため亜リン酸が有効です。

即効性の亜リン酸

吸収された亜リン酸はそのまま体内で利用され、また一部は体内で活性酸素と結び付きリン酸となります。

このリン酸転化により植物体内の活性酸素濃度を低下させることで、リン酸の肥効を即効的に、また確実なものにします。

散布後2~3日で効果が表れます。

生長調整効果

リン酸に肥効が確実になることによって、体内の代謝や有機物合成が盛んになり、未消化窒素の消化(窒素中断)を早め、病害虫に対する耐性も強化されます。また、窒素過剰の徒長気味の植物に散布することによって作物を「しめる」効果もあります。

台風通過後冠水したホウレン草も早期に回復



台風通過後8日目撮影。
台風通過直後に
ホストップ500倍を
1回散布。
黄化なく、葉がしっかり
立っている。



中位～下位葉は
ダメージが残っているが、
その後はしっかり色も
のっている。
リン酸特有の光沢がある。



生育ステージに合わせて2タイプ

含有成分	ホストップ[亜リン酸+カリウム肥料] N:O,P:25,K:20	ホスカル[亜リン酸+カルシウム肥料] N:2,P:15,K:0,Ca:5
登録番号	生第86571号	生第85983号
用途	◆生育前半期の体づくり用 ・細胞を作り、発根を促す：1000～2000倍 ・ストレスで弱った作物を回復させる：700～1000倍 ・果実の糖度アップ、品質向上：500～1000倍 ・未消化窒素の消化促進：500～1000倍 ・一時的な窒素中断：500倍	◆生育後半期の仕上げ用 互換成分であるPとCaを同時に吸収 ・発根・分けつ促進：1000～2000倍 ・着花(着果)促進、糖度向上：1000～2000倍 ・高温・N過多時のCa欠乏対策：500～1000倍 ・細胞皮(膜)の硬化促進：500～1000倍 ・わい化効果(株をしめる効果)：500倍 ・植物の抵抗力促進(活性酸素除去)：500～1000倍
pH	6.0～6.2	1.45～1.5
使用量	育苗期：1000～2000倍希釀 育苗期以降：葉面散布：500～2000倍希釀、灌水：500ml／10a回	
使用上の注意	・高濃度では使用しないでください。葉に障害が出ることがあります。 ・飲料品ではありません。乳幼児の手の届かないところに保管してください。 ・溶解後は速やかに使い切ってください。 ・開封後はしっかりと密閉し直射日光を避け冷暗所に保管してください。 ・石灰硫黄合剤などアルカリ性農薬と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用はしないでください。 ・銅剤との混用及び近接散布は避けてください。 ・ホスカルは厳寒期にCaの沈殿物ができることがあります。湯煎などして溶かしてからご利用ください。	
規格	500ml／1リットル／10リットル	



亜リン酸肥料の副次効果 (こんな効果事例も)

- アブラナ科野菜の白さび病耐性の向上
- ダイズ茎疫病に対する耐病性の向上
- 温州ミカンにおける着花・果促進効果による裏年の解消
- 黄化葉巻病発症後の生育促進

など

発売元

オーガニック・ランド株式会社

〒811-1202 福岡県筑紫郡那珂川町片縄西4-5-4

Tel: 092-408-6841 Fax: 092-408-5465

詳しい情報はWebで検索 IPM資料館

